

今後の天候について

2016/3/8

株式会社ウェザーマップ

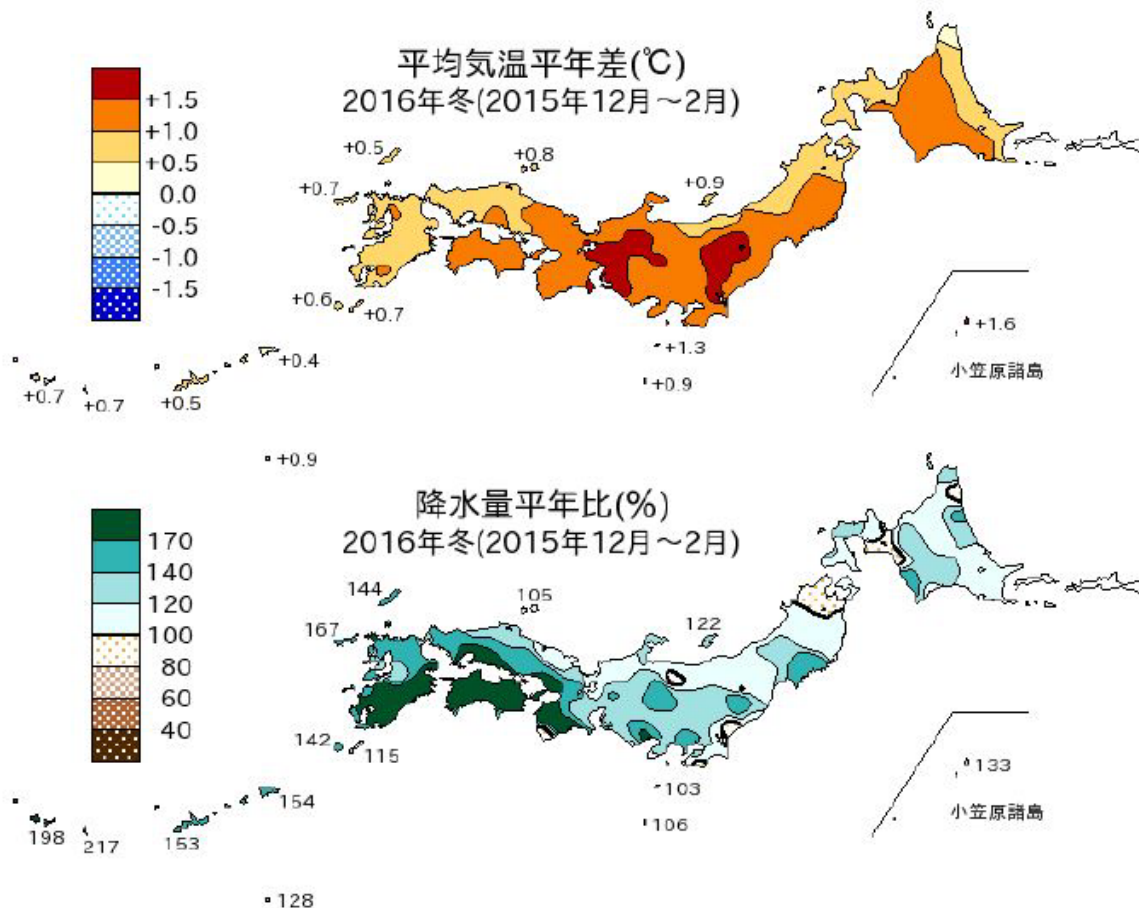
107-0052 東京都港区赤坂5-4-9 いちご赤坂五丁目ビル6F

TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

<http://www.weathermap.co.jp/>



今冬（12～2月）のまとめ

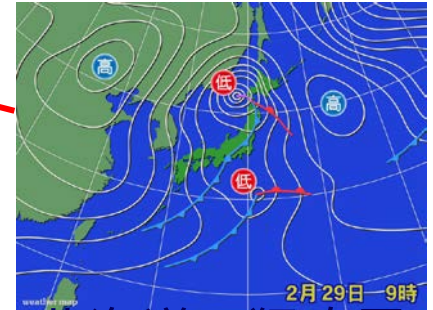
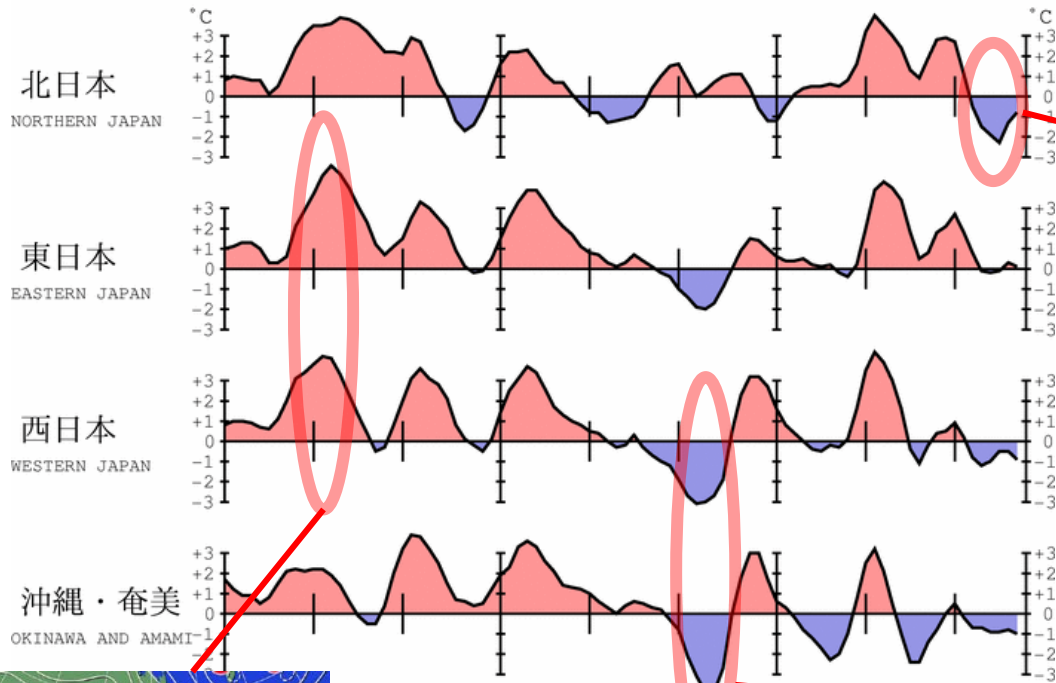


- 全国的に**暖冬**
- 全国的に**降水量が多く**、沖縄・奄美では**記録的な多雨**
- 日本海側の**降雪量は**ほぼ全国的に**少なかった**

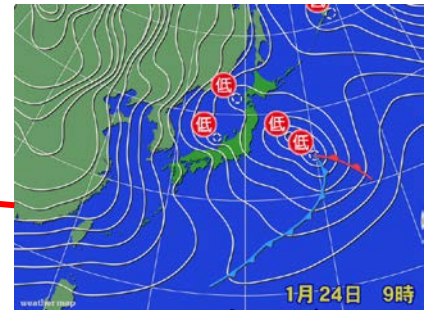


気温経過 (地域平均気温平年偏差の5日移動平均時系列)

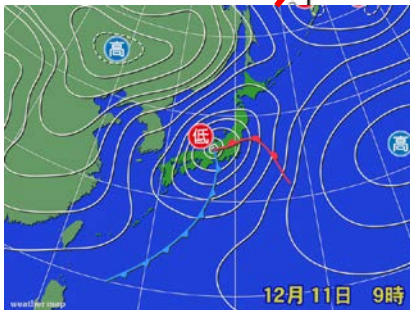
2015/16年 12月 1月 2月
上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬



北海道で猛吹雪



奄美で115年ぶりの雪
西日本極寒

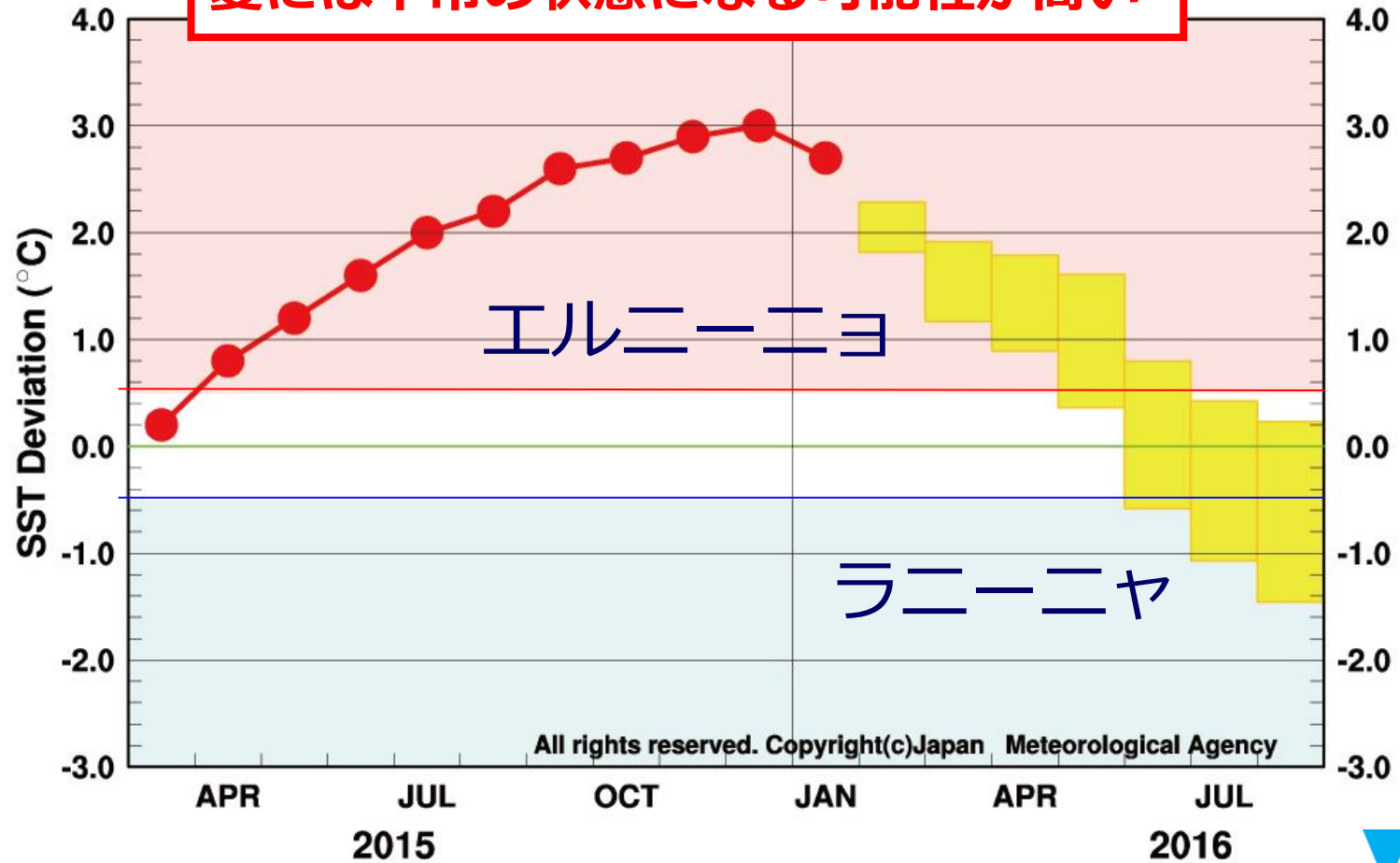


大雨・高温
12月の記録続出



エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測（5か月移動平均値）

今後エルニーニョ現象は弱まり、
夏には平常の状態になる可能性が高い



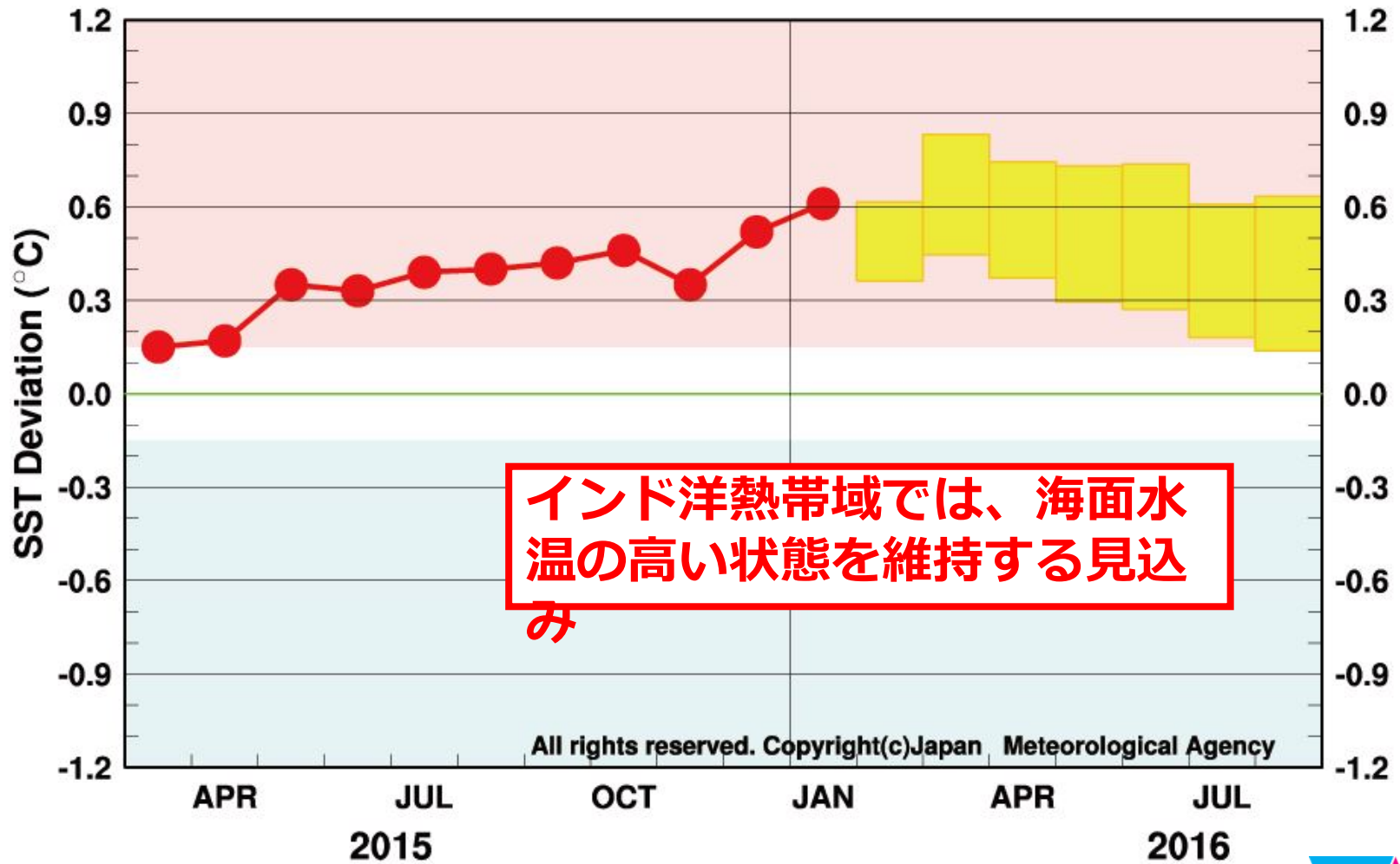
All rights reserved. Copyright(c)Japan Meteorological Agency

Copyright weathermap.Co.,Ltd. All rights reserved. Confidential





インド洋熱帯域海面水温の経過と予測（5か月移動平均値）





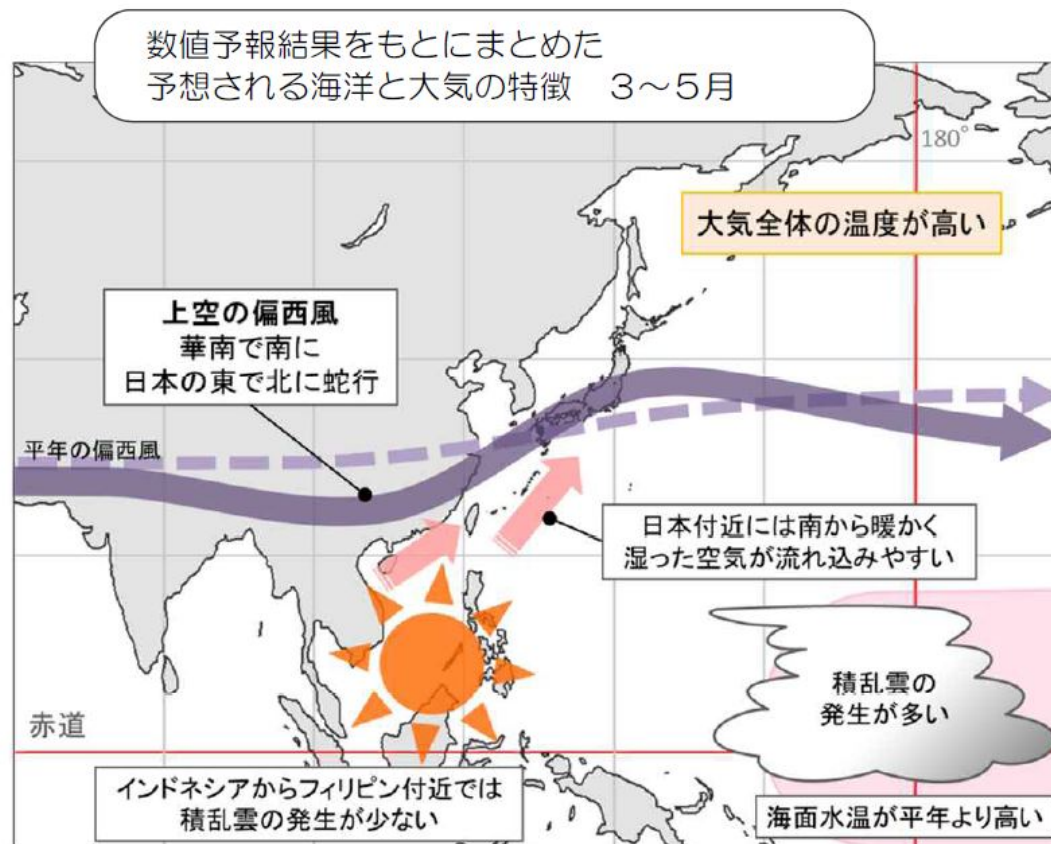
インド洋熱帯域の海水温が高いとき

- 日本付近では太平洋高気圧の北への張り出しが弱く北日本を中心に多雨・寡照となる傾向があり、沖縄・奄美では高温となる傾向がある。
- インド洋熱帯域の海面水温は、エルニーニョ/ラニーニャ現象が発生すると、エルニーニョ監視海域の海面水温の変動に遅れて変動する傾向がある。
- エルニーニョ現象終息後の夏季に、北日本を中心に多雨・寡照、沖縄・奄美で高温となることがある。

海洋と大気の特徴 (3~5月)

予想される海洋と大気の特徴

- 熱帯から中緯度にかけて、大気全体の温度が高い状態が続く見込みです。
- エルニーニョ現象が続き、熱帯の海面水温は太平洋の日付変更線付近から東部にかけて平年より高い見込みです。この付近では積乱雲の発生が多いでしょう。一方、インドネシアからフィリピン付近では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は、華南で南に、日本の東で北に蛇行するため、日本付近は太平洋側を中心に南から暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。





3~5月の予報 (平均気温)

	平均気温 3月	平均気温 4月	平均気温 5月
北日本	低 20 並 40 高 40% ■ 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% ■ 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% ■ 平年並か高い 見込み
東日本	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% ■ 平年並か高い 見込み
西日本	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み
沖縄・奄美	低 20 並 40 高 40% ■ 平年並か高い 見込み	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% ■ 高い 見込み

↑

数値は予想される
出現確率です

平均気温 3月 平均気温 4月 平均気温 5月



3~5月の予報 (降水量)

		降水量 3月	降水量 4月	降水量 5月
北日本	日本海側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
沖縄・奄美		少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み

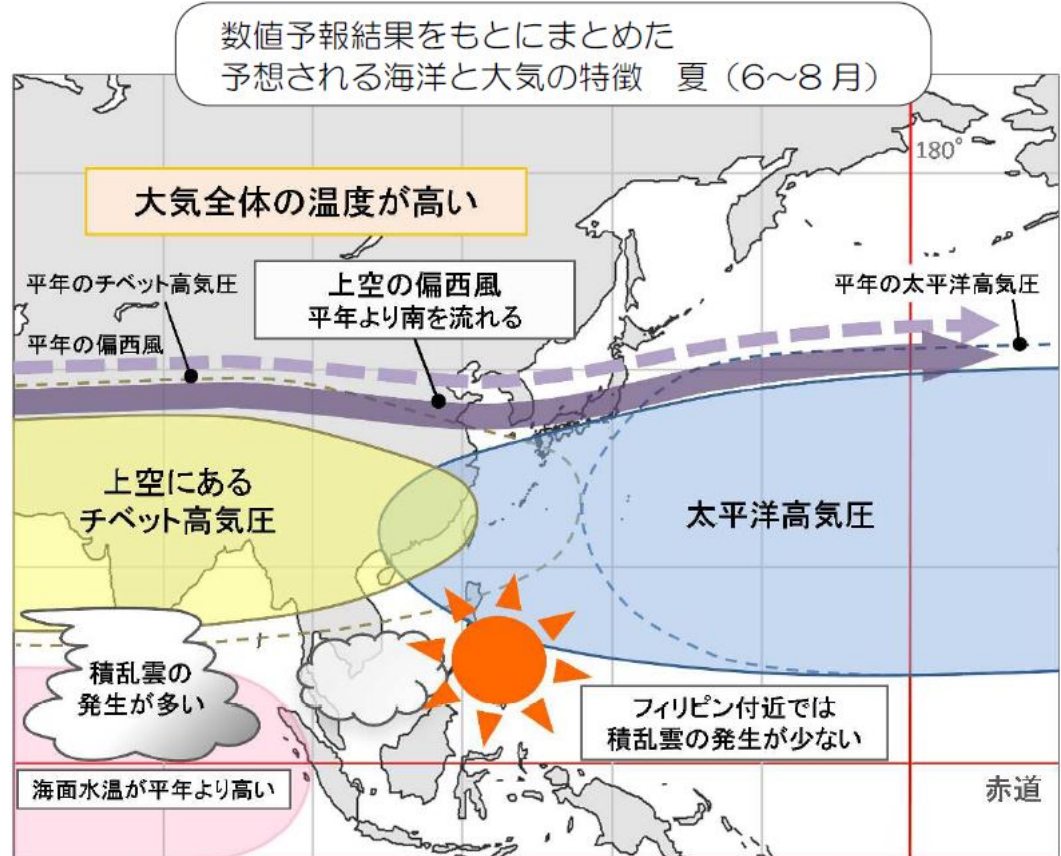
↑
数値は予想される
出現確率です



海洋と大気の特徴（6～8月）

予想される海洋と大気の特徴

- 大気全体の温度が高い見込みです。
- 太平洋ではエルニーニョ現象が終息しますが、インド洋熱帯域の海面水温は平年より高い見込みです。このためインド洋では積乱雲の発生が多く、フィリピン付近では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- チベット高気圧は弱く、偏西風は平年より南を流れる見込みです。
- 太平洋高気圧は日本の南で強く、北への張り出しは弱いでしょう。このため、北日本から西日本にかけては太平洋高気圧の縁を回って南から暖かく湿った空気が流れ込みやすい見込みです。





近年の夏の特徴

最近 10 年間の夏の特徴

年	夏の平均気温 平年差℃ (階級)				夏の天候の特徴
	北日本	東日本	西日本	沖縄・奄美	
2006	0.4(+)	0.1(0)	0.5(+)	0.2(+)	平成 18 年 7 月豪雨 (九州～北陸) 梅雨期多雨傾向
2007	0.6(+)	0.1(0)	0.2(0)	0.4(+)	7 月上～中旬台風第 4 号と梅雨前線で大雨 国内最高気温記録更新
2008	-0.1(0)	0.2(0)	0.3(0)	0.4(+)	梅雨期少雨傾向 平成 20 年 8 月末豪雨
2009	-0.4(0)	-0.2(-)	-0.1(0)	0.2(+)	平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 中国・北陸・東北梅雨明け不明瞭
2010	2.2(++)	1.5(++)	0.8(+)	0.1(0)	北・東は第 1 位の高温 7 月中旬に九州北部などで豪雨被害
2011	1.0(+)	0.9(+)	0.5(+)	0.3(+)	平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 台風第 12 号で紀伊半島を中心に大雨
2012	0.7(+)	0.6(+)	0.4(+)	0.1(0)	平成 24 年 7 月九州北部豪雨 西日本と沖縄・奄美で多雨・日照不足
2013	1.0(+)	1.1(++)	1.2(++)	0.7(++)	秋田県・岩手県・島根県・山口県で豪雨被害 東日本太平洋側と沖縄・奄美で少雨 国内最高気温記録更新
2014	1.2(+)	0.5(+)	-0.3(-)	0.3(+)	平成 26 年 8 月豪雨 8 月はほぼ全国的に多雨
2015	0.6(+)	0.3(0)	-0.5(-)	0.6(++)	西日本で低温・多雨・日照不足 北日本と沖縄・奄美は高温

階級 -- : かなり低い - : 低い 0 : 平年並 + : 高い ++ : かなり高い



まとめ

【3～5月】

エルニーニョ現象続くが勢力は弱まる。南から暖かく湿った空気が流れ込みやすく、西日本を中心に多雨傾向。また全国的に高温となる見込み。

【6～8月】

エルニーニョ現象は終息。前線や南からの暖かく湿った気流の影響で、夏・梅雨の時期ともに降水量は平年並か多い見込み。

西日本を中心に暖かい空気に覆われやすいが、太平洋高気圧の北への張り出しは弱い見込み。

※オホーツク海高気圧（北日本を中心に低温をもたらす）の発生に関しては今後の一か月予報や異常天候早期警戒情報などを要確認。